追悼　入　野　卓　彦　君

７組　山本　哲照

本欄で入野卓彦君の訃報に接し、親しくしていた友がまた一人この世からあの世に引っ越してしまったと暗然とした気持ちになりました。私と入野君とは生家が近く、小田原市の旧万年の**唐人町地区で「朝日子供会」**のメンバーとして幼少時を過ごしました。この朝日子供会には私と同学年の子供が私を含めて１５人（男児１４、女児１）いました。この内小田高に進学したのは**庄野（旧姓石橋）佳辰、入野卓彦、内田晶二郎、江木紀彦、神保武司、山本哲照**の６人でした。

この内入野君と神保君それに私は同じ中央大学に進学し、小田原地区の中大生の親睦団体である**「中央大学小田原白門会」**に所属して親しく交流していました。国鉄東海道線で小田原駅から東京駅、中央線で東京駅から御茶ノ水駅まで行きも帰りも一緒と言うことはしょっちゅうでした。学校に着いてからも休講掲示板に直行し休講が掲示されていれば、皇居前などに繰り出して散策や他愛もない会話に熱中したものでした。また、小田原白門会はいろいろな行事を行っていて何かと理由をつけては「打ち合わせ」や「打ち上げ会」を飲み屋や料亭などで行い、店を出てからも**城址公園や海岸などでたむろしながら雑談**に興じていました。巡回中の**警察官に怪しまれて誰何**されたことも一再ならずありました。

入野君の両親は確か教育者で学校の先生をなさっていたと記憶しています。入野君、神保君はともに小田高の柔道部に入っていました。二人とも酒に強く飲み会では非常に愉快な酒でした。また、入野君はご婦人と猥談が好きで親しい仲間からは**「いり野」では**なく**「エロ野」**と呼ばれていました。彼が結婚して唐人町から小田原市中里に引っ越し、私もその後久野に引っ越したりして会う機会は激減しましたが、何らかの会合で顔を合わせれば二人ともたちまち数十年の時空を超えて幼友達の仲に戻って打ち解けて会話をしていたものです。６人のうち**石橋君、神保君、内田君、入野君は鬼籍**に入ってしまいました。心からご冥福を祈ります。合掌。